



資料6

大阪運輸支局の取組について

令和5年7月から、トラックGメンを含む若手職員を中心とする「物流2024問題チーム」を設置。「物流革新に向けた政策パッケージ」において示された方針に沿い、取り組みを検討・実施。

「(3)荷主・消費者の行動変容」に関する取組み

<検討趣旨>

- ・ 消費者に対し、物流コストの価格転嫁や宅配、引っ越しに関する意識改革、行動変容を促す
- ・ 自治体、消費者団体等と連携し、物流施設の見学等、消費者の関心を高める工夫を検討

○消費者に向けたアプローチ（具体的な取り組みとして進めたもの（一部は検討準備中））

- ・ イベント企画 : **R6.2.28(火)** 消費生活講座「『物流の2024年問題』について～持続可能な物流の実現に向けて～」開催（寝屋川市立消費生活センターと共催）
- ・ 集合施設での広報 : **R6年度** 集合住宅やスーパー等での周知等を検討準備中
- ・ マスへの発信 : **R6.3.16(土)** 大阪駅周辺でのリーフレット配布
SNSの活用

「(1)商慣行の見直し」「(2)物流の効率化」に関する取組み

○トラック運送事業者向けセミナーの開催

- ・ **R5.12.22(金)第1回、R6.1.30(火)第2回、R6.2.26(月)第3回トラックGメンに関するオンライン説明会**
契約の書面化、輸送実態分析（運転日報分析等）等の説明

○貨物軽自動車運送事業者講習会の開催（YouTubeでの動画配信）

- ・ **R5.10.2(月)** 貨物軽自動車運送事業における事故防止のため、運行管理の実施、安全運転の遵守、点検整備の実施についての説明動画を近畿運輸局YouTubeで配信

R6.2.28(火) 消費生活講座（大阪運輸支局・寝屋川市立消費生活センター共催） 『『物流の2024年問題』について～持続可能な物流の実現に向けて～』開催

○趣旨

・消費者に対し、物流コストの価格転嫁や宅配、引越しに関して意識改革・行動変容を促すため講座を企画。

○概要

・令和6年2月28日（水）13:30～15:00

・『『物流の2024年問題』について』『消費者の皆様にお伝えしたいこと』について説明



（説明イメージ）

『物流の2024年問題』とは

- ・2024年4月から
時間外労働の960時間上限規制と改正改善基準告示がトラックドライバーへ適用されます。
- ・労働環境改善が期待される一方、労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、「モノが運べなくなる」可能性が懸念されています。→物流の2024年問題



- ・「物流の2024年問題」の解決には、トラック事業者のほか、荷主企業・物流事業者・消費者等の物流に係る全ての関係者の取組が必要となります。

引越時期をずらすことで どのようなメリットがある？

- 3月末の土日の引越と比べ、引越代金が安くなった
- 3月の最終週から引越時期をずらすことで、引越事業者の予約が取りやすくなった
- 会社の従業員の引越にかかるコストを抑えることができた

などのご意見がございました。

出典：国土交通省自動車局貨物課 令和6年1月24日プレスリリース抜粋



出典：経済産業省、国土交通省
『宅配事業とEC事業の生産性向上連絡会～再配達削減に向けた取組事例～』

●消費者

- 当日、翌日配達の家配サービスが受けられないかもしれない。
- 水産品、青果物など新鮮なものが手に入らないかもしれない。



出典：全日本トラック協会HP (<https://jta.or.jp/member/rodo/pr2024ad.html>)

R6.3.16(土) 大阪駅周辺での街頭キャンペーン（リーフレット配布）

- 趣旨
 - ・消費者に対し、「物流の2024年問題」等の周知が必要であることから、街頭キャンペーンを実施。

- 概要
 - 1.日時：令和6年3月16日（土）10：00～12：00
 - 2.場所：JR大阪駅周辺の以下の場所
 - ①大阪駅前交差点南詰（10:00～10:30）
 - ②大阪駅前西交差点北西角（10:45～11:15）
 - ③ハッピーナビオ前（11:30～12:00）

（リーフレット※A4両面三つ折り）

（配布場所）



表面

裏面